



長門市立深川小学校 校長室・コミスクだより

本気・根気・元気

令和5年1月23日(月)

「進」の3学期になるように②

朝のヒストリア長門前の交差点で、「見守りたい」の方からこのようなお話を伺いました。

これまで、少しでも早く横断歩道を渡れるようにとの配慮から、子どもたちが来るタイミングに合わせて、信号の押しボタンを押してくださっていました。

しかし、そのことは、子どもたちが「自分で自分の安全を守る」ことにはつながらないとの考えから、今は押しボタンは子どもたちが押すようにされています。わずか押しボタン一つのことですが、そのような細かなところにまで、子どもたちの成長を大切に考えてくださっていることを、とてもありがたく感じました。



そのような視点で見ると、「見守りたい」や保護者の方が立哨されている横断歩道では、子どもたちの一旦停止や左右確認への意識が薄いように思われます。

例えば、介護の場では、何もかも手助けすることがよいのではないということが言われます。前号でお伝えした「進」（自分から進んで取り組む）の3学期にしていく上で、「見守りたい」の方々の姿勢から、とても大切なことを教わったような気がしています。



6年生が英語検定に取り組みました。今年度、長門市では、外国語教育の充実や小中連携を図るために全ての小学校6年生で実施しています。

回答の方法は全てマークシート方式で、ちょっとした大学入試のような雰囲気です。タブレットやデジタル教科書と同様、ほんの数年前までの小学校では考えられなかった光景ですが、そう感じるのは大人だけで、案外、子どもたちは抵抗感も無く、ごく自然なこととして受け止めているようです。

3学期に入り、新型コロナウイルス感染症濃厚接触者の待機期間についての問い合わせが増えています。山口県のホームページに、とても分かりやすく掲載されていますので、必要な際には参考にしてください。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/47/177852.html>





中央公民館に児童の作品を展示しています！

中央公民館の御厚意により、本校児童の作品を展示していただいています。
近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください。



展示期間：1月16日（月）～3月31日（金）

展示場所：中央公民館1Fロビー



第4回学校運営協議会を開催しました！

12月16日（金）、第4回学校運営協議会を開催しました。今回は、プロジェクト別協議〈今年度の活動の振り返りと次年度に向けて〉を全教職員が参加して行いました。各プロジェクトの協議結果は、下記のとおりです。



わくわく学びプロジェクト

- 保護者ボランティアの皆様の御協力で、夏休みに図書室開放を行うことができた。昨年度よりも利用者が少なかったため、今後よりよい方法を検討したい。
- 子どもたちが読書に取り組む機会を増やすため、雨の日を読書デーとする、など全校体制で実施できる取組を考えていきたい。



いきいきハートプロジェクト

- 昨年度に引き続き、あいさつリーダーに配付するバッジの作成を進めている。
- ラジオ体操では、第9回全国小学校ラジオ体操コンクールで敢闘賞を受賞することができた。今後も継続して取り組みたい。
- 今年度の新しい取組として、行事や学習支援に来ていただいた方への感謝の手紙を公民館に掲示していた。今後は、来校された方だけでなく、地域の方への感謝を伝えることができる取組も行いたい。



にこにこパワフルプロジェクト

- 毎月第2火曜日に実施している地域の方との外掃除について、外掃除は定着してきたので、外庭に限らず室内の掃除にも一緒に取り組みたいと考えている。
- おたすけ隊の皆様の御協力で、低学年用の砂場と、投力向上のための装置を設置することができた。
- 体育主任が発行するおたよりをホームページにもアップロードし、体力テストの結果や、体力向上週間「深川 de チャレンジ」の結果を掲載している。

最後に、長門市教育委員会の岡嶋邦彦様、藤本悠司様より「プロジェクト協議から、先生方、委員の皆様の熱い思いが伝わった。子どもたち自身が取組をどう感じているのかを考えることが、次の取組の改善につながると思う。子どもたちが自主的、主体的に活動に取り組むことができるよう、子どもたちの意見を反映して形にすることが、学校愛、郷土愛の育成にもつながると考える。地域連携の取組を負担に感じることがない方法で、子どもたちの思いを大切にしながら取り組んでほしい。」と講評をいただきました。本協議会の梶山会長からも「今後も子どもたちの思いに沿った取組を考えたい。それが学校の活性化にもつながると思う。」と御挨拶いただきました。

